

# 古代・中世の 東海道

## 11月14日(土)14時開演

(開場 13時30分)

古代には、駅伝制とよばれる交通制度が整備されましたが、東海道よりも山陽道の方が重視されていました。ところが、鎌倉幕府が成立すると、東海道交通の重要性が一気に高まりました。今回は、そのような古代・中世の東海道についてお話しします。

会場：東海道かわさき宿交流館 4階集会室

定員：当日先着 100名 (全自由席)

料金：無料

講師：本多隆成 (静岡大学名誉教授)

ほんだ たか しげ

**本多隆成** (静岡大学名誉教授)

1942年大阪市生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。専門分野は、戦国期から近世(江戸時代)にかけて。内容は、主として「東海地域史研究」と「徳川家康の研究」。

【主な著書】

『近世初期社会の基礎構造』、『初期徳川氏の農村支配』

『歴史の旅 東海道を歩く』、『定本徳川家康』など



【交通アクセス】

JR川崎駅 中央東口 徒歩約10分 / 京急川崎駅 徒歩約6分  
北口東

〒210-0001 川崎区本町1-8-4 [TEL] 044-280-7321

# 東海道かわさき宿交流館

